

科目	款	08 土木費		項	02 道路橋梁費		目	02 道路維持費	
	事業名		道路維持費						
	決算額 (前年度比)		財 源 内 訳						
	282,905,663 円 (+32,939,336 円)		国・県支出金	使用料・手数料	分担金・負担金・寄附金	地方債	その他	一般財源等	
			17,026,000 円	0 円	0 円	68,000,000 円	0 円	197,879,663 円	
主管	市民一人当たりの決算額		4,086 円 (一般財源等ベース 2,858 円)			単位決算額			
土木課	1 事業目的 道路や歩道がいつでも安心、快適に利用できるよう、適正に維持管理する。								
	2 事業内容								
	(1) 道路ストック点検費								
	市が管理する道路の利用者及び第三者の被害を防止し、効率的に修繕工事を行うため、点検を実施した上で修繕計画を策定した。								
	ア 支出科目								
	区 分		内 容				事業費		
	委託料		舗装点検業務				25,951,200 円		
	(2) 道路維持管理費								
	道路利用者の安全な通行を確保するため、道路用排水ポンプ施設などの点検を行った。								
	ア 主な支出科目								
	区 分		内 容				事業費		
	需用費		光熱水費など				1,319,930 円		
	委託料		清掃業務				21,699,326 円		
			排水施設保守業務など				4,797,100 円		
	(3) 鉄道駅自由通路維持管理費								
	J R 枇杷島駅東西自由通路の維持管理を行った。								
	ア 主な支出科目								
	区 分		内 容				事業費		
	需用費		光熱水費など				4,963,202 円		
	委託料		清掃業務、警備業務及び保守点検業務				8,814,703 円		
	(4) 道路維持補修費								
	過去に整備された路線を維持するため、点検の結果を踏まえて策定した維持管理計画に基づく修繕工事を行った。								
	ア 支出科目								
	区 分		内 容				事業費		
	委託料		測量業務及び設計業務				8,321,500 円		
	工事請負費		道路修繕工事、交通安全施設工事及び一般維持修繕工事など				200,202,635 円		
	原材料費		維持補修用材料				2,470,096 円		
	3 事業成果								
	道路や歩道を適切に管理することにより、年間を通じて利用者の安全な通行を維持し、便利で快適に暮らせるまちづくりに寄与することができた。								

科目	款	08 土木費		項	02 道路橋梁費		目	02 道路維持費	
	事業名		街路灯費						
	決算額 (前年度比)		財 源 内 訳						
	50,156,161 円 (△5,641,828 円)		国・県支出金	使用料・手数料	分担金・負担金・寄附金	地方債	その他	一般財源等	
			0 円	0 円	0 円	0 円	0 円	50,156,161 円	
主管	市民一人当たりの決算額		724 円 (一般財源等ベース 724 円)			単位決算額			
	1 事業目的 夜間における交通安全及び犯罪の防止を図るため、街路灯（防犯灯を含む。）の設置及び管理を行い、安全で安心なまちづくりを目指す。								
土木課	2 事業内容								
	(1) 街路灯管理費								
	夜間通行の安全確保及び犯罪防止のため、街路灯の管理及び修繕を行った。また、街路灯ＬＥＤ化一括リースに伴う賃借料を支払った。								
	ア 修繕箇所								
	４０か所								
	イ 支出科目								
	区 分		内 容				事業費		
	需用費		電気代				18,975,631 円		
			修繕料				915,734 円		
	使用料及び賃借料		リース料				26,276,400 円		
(2) 街路灯整備費									
地元より要望があった箇所について、夜間通行の安全確保並びに犯罪防止のため、街路灯の新設工事を行った。									
また、既設の街路灯については、点検の結果を踏まえて策定した維持管理計画に基づき、単独支柱の更新を行った。									
ア 新設・取替内容（実績）									
区 分		内 容				本 数			
新設		街路灯（ＬＥＤ）設置				20 本			
取替		点検に基づく支柱修繕				9 本			
イ 支出科目									
区 分		内 容				事業費			
工事請負費		街路灯（ＬＥＤ電柱共架含む）新設及び支柱取替工事				3,988,396 円			
3 事業成果									
市民の夜間通行時の安全確保及び犯罪の防止が図られ、安全で安心なまちづくりに寄与することができた。									

科目	款	08 土木費		項	02 道路橋梁費		目	03 道路新設改良費	
	事業名		道路改良費						
	決算額 (前年度比)		財 源 内 訳						
	46,620,200 円 (△12,265,858 円)	国・県支出金	使用料・手数料	分担金・負担金・寄附金	地 方 債	そ の 他	一般財源等		
		23,300,000 円	0 円	0 円	0 円	0 円	23,320,200 円		
主管	市民一人当たりの決算額		673 円 (一般財源等ベース 337 円)		単位決算額				
	1 事業目的 地域住民の利便性向上を図るため、道路改良を行うことにより、市道の機能を充実し、道路の安全性に配慮した道路づくりに努める。								
土木課	2 事業内容								
	(1) 市道西田中蓮池線等整備費								
	歩道の機能を充実するため、水路を覆蓋化する工事を実施した。								
	ア 支出科目								
	区 分		内 容				事業費		
	委託料		測量設計業務				11,495,000 円		
	工事請負費		歩道設置工事				35,125,200 円		
	3 事業成果								
	市街地の発展のため、生活環境の向上を目指して、道路利用者が満足する道路整備を行うことにより、便利で快適に暮らせるまちづくりに貢献できた。								

科目	款	08 土木費		項	02 道路橋梁費		目	03 道路新設改良費							
	事業名		清洲城・朝日遺跡連携推進費												
	決算額 (前年度比)		財 源 内 訳												
	66,501,600 円 (皆 増)	国・県支出金	使用料・手数料	分担金・負担金・寄附金	地 方 債	そ の 他	一般財源等								
		0 円	0 円	0 円	0 円	0 円	66,501,600 円								
主管	市民一人当たりの決算額		960 円 (一般財源等ベース 960 円)			単位決算額									
土木課	1 事業目的 あいち朝日遺跡ミュージアムの開館（令和2年11月）に合わせて、当該施設と清洲城を一体的に活用し、来場しやすい環境を整えることにより、相互の施設の魅力の向上を図る。														
	2 事業内容 あいち朝日遺跡ミュージアムと清洲城との施設間の動線を小学生でも楽しみながら、分かりやすく歩くことができる遊歩道として整備した。														
	(1) 支出科目														
	<table><tr><td>区 分</td><td>内 容</td><td>事業費</td></tr><tr><td>工事請負費</td><td>遊歩道整備工事</td><td>66,501,600 円</td></tr></table>			区 分	内 容	事業費	工事請負費	遊歩道整備工事	66,501,600 円						
	区 分	内 容	事業費												
工事請負費	遊歩道整備工事	66,501,600 円													
3 事業成果 あいち朝日遺跡ミュージアムの開館に合わせて、当該施設と清洲城との施設間を小学生でも楽しみながら、分かりやすく歩くことができる遊歩道として整備することにより、本市を代表する両施設の連携を推進し、一体的に活用していくための基盤整備を図ることができた。															

科目	款	08 土木費		項	02 道路橋梁費		目	04 橋梁維持費	
	事業名		橋梁維持費						
	決算額 (前年度比)		財 源 内 訳						
	89,491,105 円 (+40,421,617 円)		国・県支出金	使用料・手数料	分担金・負担金・寄附金	地 方 債	そ の 他	一般財源等	
			45,595,000 円	0 円	0 円	0 円	0 円	43,896,105 円	
主管	市民一人当たりの決算額		1,292 円 (一般財源等ベース 634 円)			単位決算額			
土木課	1 事業目的								
	市が管理する橋梁について、橋梁本体部材及び橋梁附属物の損傷状態を把握するために行った点検の結果と修繕計画に基づき、修繕及び改築更新等を行うことにより、常に良好で円滑な橋梁機能を保持する。								
	2 事業内容								
	(1) 橋梁点検費								
	橋梁の効率的な維持管理を推進するため、道路法に基づく定期点検を計画した。								
	ア 支出科目								
	区 分			内 容			事業費		
	委託料			橋梁定期点検支援業務			8,050,955 円		
	使用料及び賃借料			橋梁台帳システム使用料			264,550 円		
	(2) 橋梁維持補修費								
	定期点検の結果を踏まえた橋梁長寿命化計画に基づき橋梁補修工事を行った。								
	ア 支出科目								
	区 分			内 容			事業費		
	委託料			橋梁実施設計業務（北野橋等）			6,050,000 円		
	工事請負費			橋梁耐震補修工事（野田町橋）			75,125,600 円		
	3 事業成果								
	橋梁の適正な管理と橋梁長寿命化修繕計画に基づく橋梁の補修を行うことにより、常に良好で円滑な橋梁機能を保持するとともに、橋梁に係る維持管理コストの縮減や平準化を行うことができた。								

科目	款	08 土木費		項	02 道路橋梁費		目	05 橋梁新設改良費	
	事業名		橋梁改良費						
	決算額 (前年度比)		財 源 内 訳						
	29,804,806 円 (△27,113,194 円)	国・県支出金	使用料・手数料	分担金・負担金・寄附金	地方債	その他	一般財源等		
		5,960,000 円	0 円	0 円	16,000,000 円	0 円	7,844,806 円		
主管	市民一人当たりの決算額		430 円 (一般財源等ベース 113 円)		単位決算額				
土木課	1 事業目的 愛知県が実施する新川圏域河川整備計画（愛知県策定）に基づいて、地域全体が連携し、安全と安心をわかちあい、うるおいのある暮らしを支え育むことができる川づくりのための河川改修事業（五条川・水場川改修事業）に同調し、橋梁の架け替え事業を推進する。								
	2 事業内容								
	(1) 船枳橋整備費								
	愛知県が実施している五条川の改修に伴い、船枳橋の架け替え工事を行った。								
	ア 支出科目								
	区 分		内 容				事業費		
	委託料		船枳橋架け替え事業に係る整備協定（県）に基づく工事（上部工）委託				15,734,739 円		
	補償、補填及び賠償金		支障物件移転補償				2,070,139 円		
	(2) 白弓橋整備費								
	愛知県が実施している水場川の改修に伴い、白弓橋の架け替え工事を行った。								
ア 支出科目									
区 分		内 容				事業費			
委託料		白弓橋架け替え事業に係る整備協定（県）に基づく工事（上部及び下部工）委託				11,999,928 円			
3 事業成果									
五条川・水場川の河川改修事業を実施することにより、浸水被害を解消できるとともに、安全で安心な生活環境を提供することができた。									
また、河川改修に伴い橋梁を架け替えることにより、地域の道路網の安全性・信頼性を確保することができた。									

科目	款	08 土木費		項	02 道路橋梁費		目	05 橋梁新設改良費	
	事業名		繰越明許費繰越事業						
	決算額 (前年度比)		財 源 内 訳						
	118,058,435 円 (ー)	国・県支出金	使用料・手数料	分担金・負担金・寄附金	地 方 債	そ の 他	一般財源等		
		33,220,000 円	0 円	0 円	66,000,000 円	18,838,435 円	0 円		
主管	市民一人当たりの決算額		1,705 円 (一般財源等ベース 0 円)		単位決算額				
土木課	1 事業目的								
	愛知県が実施する新川圏域河川整備計画（愛知県策定）に基づいて、地域全体が連携し、安全と安心をわかちあい、うるおいのある暮らしを支え育むことができる川づくりのための河川改修事業（五条川・水場川改修事業）に同調し、橋梁の架け替え事業を推進する。								
	2 事業内容								
	(1) 船枅橋整備費								
	愛知県が実施している五条川の改修に伴い、船枅橋の架け替え工事を行った。								
	ア 支出科目								
	区 分		内 容				事業費		
	委託料		船枅橋架け替え事業に係る整備協定（県）に基づく工事（上部工）委託				108,000,000 円		
	(2) 白弓橋整備費								
	愛知県が実施している水場川の改修に伴い、白弓橋の架け替え工事を行った。								
ア 支出科目									
区 分		内 容				事業費			
委託料		白弓橋架け替え事業に係る整備協定（県）に基づく工事（下部工）委託				10,058,435 円			
3 事業成果									
五条川・水場川の河川改修事業を実施することにより、浸水被害を解消できるとともに、安全で安心な生活環境を提供することができた。									
また、河川改修に伴い橋梁を架け替えることにより、地域の道路網の安全性・信頼性を確保することができた。									

科目	款	08 土木費		項	03 河川費		目	01 河川総務費	
	事業名		五条川ふるさとの川管理費（河川費）						
	決算額 (前年度比)		財 源 内 訳						
	7,238,748 円 (△56,672 円)	国・県支出金	使用料・手数料	分担金・負担金・寄附金	地方債	その他	一般財源等		
		0 円	0 円	0 円	0 円	0 円	7,238,748 円		
主管	市民一人当たりの決算額		105 円 (一般財源等ベース 105 円)			単位決算額			
土木課	1 事業目的 国からふるさとの川モデル河川に指定を受けた五条川について、良好な水辺空間の形成を図るため、適正に維持管理を行う。								
	2 事業内容 五条川堤防の良好な景観を維持するための管理などを行った。								
	(1) 支出科目								
	区 分		内 容				事業費		
	委託料		緑地管理業務				4,125,000 円		
			堤防草刈業務				3,113,748 円		
	3 事業成果 河川の景観を維持することにより、五条川の自然な環境特性を活かした良好な水辺空間の形成を図ることができた。								

科目	款	08 土木費		項	03 河川費		目	01 河川総務費	
	事業名		雨水貯留施設費						
	決算額 (前年度比)		財 源 内 訳						
	51,094,783 円 (△214,890,595 円)	国・県支出金	使用料・手数料	分担金・負担金・寄附金	地方債	その他	一般財源等		
		0 円	0 円	0 円	0 円	444,979 円	50,649,804 円		
主管	市民一人当たりの決算額		738 円 (一般財源等ベース 732 円)		単位決算額				
	1 事業目的 新川流域の都市化の進展に伴う保水、遊水機能の維持、確保を計画的に推進するため、雨水貯留施設の管理を行い、水害に強い安全で安心なまちづくりを目指す。								
土木課	2 事業内容								
	(1) 雨水貯留施設管理費								
	雨水貯留施設を維持、確保するための管理を行った。								
	ア 主な支出科目								
	区 分		内 容				事業費		
	需用費		電気代				1,164,696 円		
	委託料		清掃業務、保守点検業務				2,495,240 円		
	工事請負費		浚渫、ポンプ修繕				47,371,500 円		
	3 事業成果								
	集中豪雨時の浸水対策として、雨水貯留施設を適正に管理することにより、水害に強い安全・安心なまちづくりに貢献できた。								

科目	款	08 土木費		項	04 都市計画費		目	01 都市計画総務費	
	事業名		民間木造住宅耐震化促進費						
	決算額 (前年度比)		財 源 内 訳						
	3,887,550 円 (△7,165 円)	国・県支出金	使用料・手数料	分担金・負担金・寄附金	地方債	その他	一般財源等		
		2,851,600 円	0 円	0 円	0 円	0 円	1,035,950 円		
主管	市民一人当たりの決算額		56 円 (一般財源等ベース 15 円)		単位決算額		143,983 円 (補助件数 27 件)		
都市 計 画 課	1 事業目的								
	南海トラフ地震の発生が懸念されるなか、地震発生時における木造住宅の倒壊などによる被害を軽減するため、旧基準木造住宅（建築基準法が改正された昭和５６年５月３１日以前に着工された木造住宅）の耐震診断及び耐震改修などに要する費用を補助することにより、地震対策への取組を促進する。								
	2 事業内容								
	(1) 民間木造住宅耐震化促進事務費								
	ア 主な支出科目								
	区 分		内 容				事業費		
	需用費		耐震診断等啓発チラシ作成費				217,800 円		
	委託料		耐震改修無料相談会相談員業務				29,000 円		
	(2) 民間木造住宅耐震診断費								
	ア 支出科目								
	区 分		内 容		事業費		補助件数		
	委託料		民間木造住宅耐震診断業務		1,038,400 円		22 件		
	(3) 民間木造住宅耐震改修費補助金								
	ア 支出科目								
	区 分		内 容		事業費		補助件数		
負担金、補助及び交付金		民間木造住宅耐震改修費補助金		2,000,000 円		2 件			
(4) 民間木造住宅除却費補助金									
ア 支出科目									
区 分		内 容		事業費		補助件数			
負担金、補助及び交付金		民間木造住宅除却費補助金		600,000 円		3 件			
3 事業成果									
地震に対しての住宅強度が判定されることにより、耐震化に対する意識の向上につなげることができた。									
また、木造住宅の耐震補強や強度不足の住宅の除却が実施されることにより、住宅倒壊の恐れが減少し、死傷者発生の抑制、避難通路の確保など、減災対策への取組を促進することができた。									

科目	款	08 土木費		項	04 都市計画費		目	01 都市計画総務費	
	事業名		空家解体促進費補助金（空家等対策費）						
	決算額 （前年度比）		財 源 内 訳						
	1,600,000 円 （+400,000 円）	国・県支出金	使用料・手数料	分担金・負担金・寄附金	地 方 債	そ の 他	一般財源等		
		1,200,000 円	0 円	0 円	0 円	0 円	400,000 円		
主管	市民一人当たりの決算額		23 円 （一般財源等ベース 6 円）		単位決算額		200,000 円 （補助件数 8 件）		
都 市 計 画 課	1 事業目的 老朽化による危険な空家などの解消により、地域の安全・安心と良好な生活環境を確保するため、倒壊又は建築材などの飛散のおそれのある危険な空家などの解体にかかる費用を支援する。								
	2 事業内容 不良住宅となっている空家の解体工事を実施する空家所有者に対し、補助金を交付した。								
	(1) 補助内容								
	ア 補助件数 8 戸								
	イ 補助対象 空家 1 棟の解体工事にかかる費用								
	ウ 補助限度額 200,000 円								
	(2) 補助条件								
	ア 市内に存する 1 年以上使用されていない空家であること。								
	イ 木造であること。								
	ウ 住宅地区改良法第 2 条第 4 項に規定する不良住宅であること。								
	エ 所有権以外の権利が設定されていない空家であること。								
	(3) 支出科目								
	区 分			内 容			事業費		
	負担金、補助及び交付金			空家解体促進費補助金			1,600,000 円		
	3 事業成果 危険性を有した空家などを解体することにより、平時からの安全確保及び地震発生時における倒壊などによる災害を防止することができた。								

科目	款	08 土木費		項	04 都市計画費		目	01 都市計画総務費	
	事業名		民間ブロック塀等撤去費補助金（民間ブロック塀等撤去費）						
	決算額 （前年度比）		財 源 内 訳						
	747,000 円 （+25,000 円）	国・県支出金	使用料・手数料	分担金・負担金・寄附金	地方債	その他	一般財源等		
		559,000 円	0 円	0 円	0 円	0 円	188,000 円		
	市民一人当たりの決算額		11 円 （一般財源等ベース 3 円）			単位決算額		74,700 円 （補助件数 10 件）	
主管									
都市計画課	1 事業目的								
	南海トラフ地震の発生が懸念される中、地震発生時におけるブロック塀等の倒壊による被害を軽減するため、道路などに面するブロック塀などの撤去を行うものに対し、撤去にかかる費用を支援する。								
	2 事業内容								
	撤去に要した経費、若しくは1 m当たり10,000円を乗じた額のいずれか少ない方の2分の1を補助（上限20万円）した。								
	(1) 補助件数								
	件 数				ブロック塀延長				
	10 件				161.94m				
	(2) 支出科目								
	区 分		内 容				事業費		
	負担金、補助及び交付金		民間ブロック塀等撤去費補助金				747,000 円		
	3 事業成果								
	民間のブロック塀等の撤去に対し、撤去費用を支援することで、危険なブロック塀等の撤去を促し、もって災害時の被害の軽減や避難路の確保に努めることができた。								

科目

主管

都市計画課

款	08 土木費		項	04 都市計画費		目	01 都市計画総務費																							
事業名		雨水貯留浸透施設設置補助金（小規模雨水貯留施設費）																												
決算額 (前年度比)		財 源 内 訳																												
167,300 円 (+140,700 円)	国・県支出金	使用料・手数料	分担金・負担金・寄附金	地方債	その他	一般財源等																								
	0 円	0 円	0 円	0 円	0 円	167,300 円																								
市民一人当たりの決算額		2 円 (一般財源等ベース 2 円)			単位決算額	18,589 円 (補助件数 9 件)																								
1 事業目的 本市における雨水の流出抑制と水環境の育成を図るため、住宅等の敷地に雨水貯留浸透施設を設置する者に対し、予算の範囲内において補助金を交付することにより、雨水による浸水及び冠水被害の減少につなげる。 2 事業内容 雨水貯留施設を設置及び雨水浸透枳を住宅などの敷地に設置した市税に滞納のない者に対し、補助金を交付した。 (1) 雨水貯留施設 1000以上の貯留容量の貯留槽を住宅等の敷地に設置した者に、1000当たり7,000円（上限1,0000、7万円）を補助した。 ア 設置数量 <table><tr><td>補助単価</td><td>件 数</td><td>数 量</td></tr><tr><td>7,000 円／1000</td><td>6 件</td><td>1,1800</td></tr></table> イ 支出科目 <table><tr><td>区 分</td><td>内 容</td><td>事業費</td></tr><tr><td>負担金、補助及び交付金</td><td>雨水貯留浸透施設設置補助金（雨水貯留槽）</td><td>77,300 円</td></tr></table> (2) 雨水浸透施設 雨水浸透施設を住宅などに設置した者に、1基当たり3万円を補助した。 ア 補助基準 <table><tr><td>建築面積 100 m²未満</td><td>件 数</td></tr><tr><td>3 基以内</td><td>3 基</td></tr></table> イ 設置数量 <table><tr><td>区 分</td><td>内 容</td><td>事業費</td></tr><tr><td>負担金、補助及び交付金</td><td>雨水貯留浸透施設設置補助金（雨水浸透枳）</td><td>90,000 円</td></tr></table> 3 事業成果 雨水貯留浸透施設を設置することにより、大雨時の雨水流出抑制、河川や排水機場への負荷軽減、雨水の有効活用などが図れ、防災や環境に対する意識を高めることができた。									補助単価	件 数	数 量	7,000 円／1000	6 件	1,1800	区 分	内 容	事業費	負担金、補助及び交付金	雨水貯留浸透施設設置補助金（雨水貯留槽）	77,300 円	建築面積 100 m ² 未満	件 数	3 基以内	3 基	区 分	内 容	事業費	負担金、補助及び交付金	雨水貯留浸透施設設置補助金（雨水浸透枳）	90,000 円
補助単価	件 数	数 量																												
7,000 円／1000	6 件	1,1800																												
区 分	内 容	事業費																												
負担金、補助及び交付金	雨水貯留浸透施設設置補助金（雨水貯留槽）	77,300 円																												
建築面積 100 m ² 未満	件 数																													
3 基以内	3 基																													
区 分	内 容	事業費																												
負担金、補助及び交付金	雨水貯留浸透施設設置補助金（雨水浸透枳）	90,000 円																												

科目	款	08 土木費		項	04 都市計画費		目	01 都市計画総務費	
	事業名		都市緑化推進事業補助金（都市緑化推進費）						
	決算額 （前年度比）		財 源 内 訳						
	2,970,000 円 （△22,000 円）	国・県支出金	使用料・手数料	分担金・負担金・寄附金	地方債	その他	一般財源等		
		2,970,000 円	0 円	0 円	0 円	0 円	0 円		
主管	市民一人当たりの決算額		43 円 （一般財源等ベース 0 円）		単位決算額		2,970,000 円 （補助件数 1 件）		
都市計画課	1 事業目的 身近な緑の質を高め、市全体の緑化の推進につなげるため、市民及び事業者が実施する緑化への取り組みに対し、都市緑化推進事業補助金を交付する。								
	2 事業内容 清須市都市緑化推進事業補助金交付要綱の規定により、補助金を交付した。								
	(1) 市民参加緑づくり事業 新川中学校の敷地内において、整備されてから年月が経過し荒廃した緑地について、生徒らが日常的に緑に触れ合える場所として再生するため花壇を整備した。								
	ア 参加生徒・保護者 60人								
	イ 支出科目								
	区 分		内 容				事業費		
	負担金、補助及び交付金		新川中学校PTAによる花壇整備事業				2,970,000 円		
	3 事業成果 市民参加緑づくり事業により、生徒が緑の大切さを考えるきっかけとなり、市内における緑化を推進することができた。								

科目	款	08 土木費		項	04 都市計画費		目	01 都市計画総務費	
	事業名		耐震改修促進計画策定費（耐震改修促進計画費）						
	決算額 （前年度比）		財 源 内 訳						
	3,630,000 円 （ 皆 増 ）	国・県支出金	使用料・手数料	分担金・負担金・寄附金	地 方 債	そ の 他	一般財源等		
		1,815,000 円	0 円	0 円	0 円	0 円	1,815,000 円		
主管	市民一人当たりの決算額		52 円 （一般財源等ベース 26 円）			単位決算額			
都市計画課	1 事業目的 既存の清須市耐震改修促進計画について、社会情勢の変化や計画の実施状況に適切に対応するため、検証を行い必要に応じて施策の見直しなど計画の修正を行う。								
	2 事業内容 清須市耐震改修促進計画の計画期間終了に伴い計画の見直しを行い、併せて地震ハザードマップを改訂した。								
	(1) 支出科目								
	区 分		内 容				事業費		
	委託料		計画の改訂及び地震ハザードマップの改訂				3,630,000 円		
	3 事業成果 耐震化すべき住宅や建築物の総数など、市内の建物状況を調査、把握することで、耐震診断及び耐震改修を計画的に促進することができた。また、地震ハザードマップを改訂することで、最新の情報を市民に提供することができた。								

科目	款	08 土木費		項	04 都市計画費		目	02 土地区画整理費	
	事業名		清洲駅前土地区画整理費						
	決算額 (前年度比)		財 源 内 訳						
	173,381,595 円 (+110,970,745 円)	国・県支出金	使用料・手数料	分担金・負担金・寄附金	地方債	その他	一般財源等		
		49,000,000 円	0 円	0 円	88,000,000 円	0 円	36,381,595 円		
主管	市民一人当たりの決算額		2,504 円 (一般財源等ベース 525 円)			単位決算額			
	1 事業目的 組合施行による土地区画整理事業において、低未利用地の計画的な面的整備を行い、道路、公園、雨水調整池などの公共施設の整備と土地利用の効率化を促進するため、市補助金及び都市計画道路整備の負担金を支出し、快適で良好な市街地整備を図る。								
都市計画課	2 事業内容								
	(1) 土地区画整理事業補助金 清須市土地区画整理事業補助要綱に基づき、道路、排水路、公園用地、雨水調整池、建物移転等に対して、公共施設の整備を行うための費用として事業計画に基づき交付した。								
	(2) 道路整備事業負担金 清洲駅前土地区画整理事業地内に計画されている都市計画道路清洲駅前線等を区画整理事業に併せて整備するため、国庫補助金を除いた整備費用を愛知県との協定に基づき負担した。								
	(3) 主な支出科目								
	区 分		内 容				事業費		
	負担金、補助及び交付金		清須市土地区画整理事業補助要綱に基づく補助金				147,000,000 円		
			道路整備事業負担金				26,250,000 円		
	3 事業成果								
	土地区画整理事業を実施する組合へ補助金を交付するとともに、清洲駅前土地区画整理事業地内にある都市計画道路を整備するための負担金を県へ支出することにより、組合事業の推進が図られ、駅前にふさわしい都市施設の整備、土地の利用増進及び有効活用、災害に強いまちづくりのための事業推進に寄与することができた。								

科目

款

08 土木費

項

04 都市計画費

目

02 土地区画整理費

事業名

新清洲駅北土地区画整理費

決算額
(前年度比)

財 源 内 訳

912,090,734 円
(+201,545,239 円)

国・県支出金

使用料・手数料

分担金・負担金・寄附金

地 方 債

そ の 他

一般財源等

334,290,000 円

3,800 円

0 円

288,000,000 円

44,780,000 円

245,016,934 円

市民一人当たりの決算額

13,173 円
(一般財源等ベース 3,539 円)

単位決算額

1 事業目的

交流拠点（第2次総合計画）及び都市拠点（都市計画マスタープラン）として位置付けられている新清洲駅北土地区画整理事業について、市施行で実施することにより、名鉄新清洲駅周辺の公共施設の整備と土地利用の効率化を促進し、快適で良好な市街地整備を図るため、建物等補償調査、建物等移転補償、実施設計、整備工事などを行う。

また、この事業と併せて実施する鉄道高架事業のための鉄道の仮線、仮駅舎などにかかる用地を優先的に確保するため、建物などの移転補償を行う。

2 事業内容

(1) 事業用地管理費

取得した減価買収用地及び建物除去後の使用収益停止用地の管理を行った。

(2) 土地区画整理事業費

整備工事、使用収益の開始、建物などの補償調査、移転補償及び実施設計などを行った。

また、鉄道の仮線用地、仮駅舎用地等を確保する必要があることから、早期に対象となる区域の建物等移転補償を行った。

ア 事業進捗状況

区 分	全体計画	実績 (令和2年度末)	進捗率
使用開始宅地面積	34,759.56㎡	2,198.71㎡	6.3%
供用開始道路延長	1,706.86m	198.00m	11.6%
移転戸数	55 戸	40 戸	72.7%

(3) 主な支出科目

区 分	内 容	事業費
委託料	権利者等調整、確定測量、仮換地指定（使用収益開始）通知書作成、建物等補償調査、実施設計業務、整備工事など（都市再生機構）	330,288,510 円
工事請負費	施行者管理地に係る除草等維持補修工事	748,000 円
補償、補填及び賠償金	建物等移転補償費	580,721,232 円

新清洲駅周辺まちづくり課

3 事業成果

整備工事を行うことで、仮換地の使用収益開始をすることができ、加えて、補償調査及び建物等移転補償を行うことで、翌年度以降の整備工事を推進することができた。

また、鉄道の仮線に必要な用地の建物等移転補償を行うことで、鉄道高架事業に必要な用地を早期に確保することができた。

科目	款	08 土木費		項	04 都市計画費		目	02 土地区画整理費											
	事業名		繰越明許費繰越事業																
	決算額 (前年度比)		財 源 内 訳																
	225,080,433 円 (ー)	国・県支出金	使用料・手数料	分担金・負担金・寄附金	地方債	その他	一般財源等												
		63,442,000 円	0 円	0 円	50,000,000 円	111,638,433 円	0 円												
主管	市民一人当たりの決算額		3,251 円 (一般財源等ベース 0 円)			単位決算額													
	1 事業目的 交流拠点（第2次総合計画）及び都市拠点（都市計画マスタープラン）として位置付けられている新清洲駅北土地区画整理事業について、市施行で実施することにより、名鉄新清洲駅周辺の公共施設の整備と土地利用の効率化を促進し、快適で良好な市街地整備を図るため、建物等補償調査、建物等移転補償、実施設計、整備工事などを行う。 また、この事業と併せて実施する鉄道高架事業のための鉄道の仮線、仮駅舎などにかかる用地を優先的に確保するため、建物などの移転補償を行う。 2 事業内容 (1) 土地区画整理事業費 整備工事、建物等移転補償及び埋蔵文化財の発掘調査などを行った。 (2) 支出科目 <table><tr><th>区 分</th><th>内 容</th><th>事業費</th></tr><tr><td rowspan="2">委託料</td><td>確定測量、建物等補償調査、整備工事など（都市再生機構）</td><td>138,913,575 円</td></tr><tr><td>埋蔵文化財発掘調査業務</td><td>14,894,000 円</td></tr><tr><td>補償、補填及び賠償金</td><td>建物等移転補償費</td><td>71,272,858 円</td></tr></table> 3 事業成果 整備工事を行うことで、仮換地の使用収益開始をすることができ、加えて、補償調査及び建物等移転補償を行うことで、翌年度以降の整備工事を推進することができた。 また、鉄道の仮線に必要な用地の建物等移転補償を行うことで、鉄道高架事業に必要な用地を早期に確保することができた。									区 分	内 容	事業費	委託料	確定測量、建物等補償調査、整備工事など（都市再生機構）	138,913,575 円	埋蔵文化財発掘調査業務	14,894,000 円	補償、補填及び賠償金	建物等移転補償費
区 分	内 容	事業費																	
委託料	確定測量、建物等補償調査、整備工事など（都市再生機構）	138,913,575 円																	
	埋蔵文化財発掘調査業務	14,894,000 円																	
補償、補填及び賠償金	建物等移転補償費	71,272,858 円																	

新清洲駅周辺まちづくり課

科目	款	08 土木費		項	04 都市計画費		目	03 街路事業費	
	事業名		街路費						
	決算額 (前年度比)		財 源 内 訳						
	70,056,120 円 (△8,656,890 円)		国・県支出金	使用料・手数料	分担金・負担金・寄附金	地方債	その他	一般財源等	
			22,500,000 円	0 円	0 円	22,000,000 円	0 円	25,556,120 円	
主管	市民一人当たりの決算額		1,012 円 (一般財源等ベース 369 円)			単位決算額		5,004,009 円 (都市計画道路 14 路線)	
都市 計画 課	1 事業目的 都市計画道路の除草や樹木の剪定及び防除などにより、道路環境を適正に維持し、緑と潤いを与えるとともに、通行車輛、歩行者の安全を確保する。								
	2 事業内容								
	(1) 街路管理費								
	都市計画道路の維持管理を行った。								
	ア 管理路線（14 路線）								
	助七西市場線、西清洲上条線、新清洲駅前線、鍋屋片町線、清須新川線、新川麒麟線、朝日阿原線、須ヶ口停車場線、小場塚新田線、大和町線、枇杷島小田井線、西枇杷島味鋤線、枇杷島停車場線及び枇杷島駅前通線								
	イ 支出科目								
	区 分			内 容			事業費		
	需用費			光熱水費など			287,761 円		
	委託料			樹木剪定、除草及び清掃業務			17,422,350 円		
	工事請負費			街路樹取替工事			759,000 円		
	(2) 清須新川線整備費								
	街路整備を行った。								
	ア 支出科目								
	区 分			内 容			事業費		
	工事請負費			街路新設改良工事			48,649,700 円		
	(3) JR 枇杷島駅前通線・東口駅前広場整備事業立替金償還費								
	JR 枇杷島駅前通線・東口駅前広場整備に伴う都市再生機構による立替分を償還した。								
	ア 償還期間								
	平成19年度から令和8年度まで								
	イ 支払金額								
	52,276,433 円								
	ウ 支出科目								
	区 分			内 容			事業費		
	公有財産購入費			枇杷島駅前線整備事業償還元金及び償還利息			2,937,309 円		
	3 事業成果								
	年間を通じて街路の適正な管理を行い、良好な道路環境を維持することができた。								

科目	款	08 土木費		項	04 都市計画費		目	04 鉄道高架費	
	事業名		新清洲駅付近鉄道高架費						
	決算額 (前年度比)		財 源 内 訳						
	487, 849, 417 円 (+382, 143, 619 円)	国・県支出金	使用料・手数料	分担金・負担金・寄附金	地 方 債	そ の 他	一般財源等		
		238, 548, 000 円	0 円	0 円	179, 000, 000 円	13, 959, 000 円	56, 342, 417 円		
主管	市民一人当たりの決算額		7, 046 円 (一般財源等ベース 814 円)			単位決算額			
新清洲駅周辺まちづくり課	1 事業目的								
	五条川改修事業に伴う名鉄名古屋本線鉄道橋の架替えに同調し、国道302号、県道名古屋祖父江線等の鉄道交差部の一体的な鉄道高架事業を相互協力していくため、国土交通省、愛知県、稲沢市、清須市で確認書を取り交わした。確認書に基づき仮線用地等を確保することで、鉄道高架事業を推進する。								
	2 事業内容								
	(1) 事業用地管理費								
	取得した用地の管理を行った。								
	(2) 鉄道高架整備費								
	新清洲駅北土地区画整理事業地内において、仮線用地への申出を希望された仮換地について用地買収を行った。								
	ア 主な支出科目								
	区 分		内 容				事業費		
	公有財産購入費		仮線及び仮駅舎用地購入費				10, 426, 940 円		
	イ 事業進捗状況								
	区 分		全体計画	実績 (令和2年度末)		進捗率			
	用地確保面積		3, 807. 45㎡	1, 453. 04 ㎡		38. 2%			
	(3) 西市場廻間線等整備費								
	将来整備する都市計画道路及び緑地地内において、仮線用地となる土地について、用地買収及び建物等移転補償を行った。								
	ア 主な支出科目								
	区 分		内 容				事業費		
	役務費		不動産鑑定、登記手数料				2, 266, 055 円		
	委託料		物件調査、土地評価業務				20, 581, 000 円		
	公有財産購入費		都市計画道路等（仮線）用地購入費				80, 320, 689 円		
	補償、補填及び賠償金		建物等移転補償費				340, 339, 398 円		
	イ 事業進捗状況								
	区 分		全体計画	実績 (令和2年度末)		進捗率			
	用地取得面積		5, 610. 54㎡	1, 633. 65㎡		29. 1%			

(4) 下本町丸之内線等整備費

将来整備する道路地内において、仮線用地となる土地について、用地買収及び建物等移転補償を行った。

ア 主な支出科目

区 分	内 容	事業費
役務費	不動産鑑定、登記手数料	506,726 円
委託料	物件調査、土地評価業務	14,905,000 円
公有財産購入費	道路（仮線）用地購入費	2,271,000 円
補償、補填及び賠償金	建物等移転補償費	15,112,835 円

イ 事業進捗状況

区 分	全体計画	実績 (令和2年度末)	進捗率
用地取得面積	3,068.78㎡	572.3㎡	18.6%

3 事業成果

鉄道高架事業着手のため、年度計画に沿った仮線用地を確保することで、限度額立体交差事業を構成する各事業を進捗することができた。

また、将来整備する都市計画道路、緑地及び市道としての用地確保ができた。

科目	款	08 土木費		項	04 都市計画費		目	04 鉄道高架費	
	事業名		繰越明許費繰越事業						
	決算額 (前年度比)		財 源 内 訳						
	201,549,253 円 (ー)	国・県支出金	使用料・手数料	分担金・負担金・寄附金	地方債	その他	一般財源等		
		104,987,000 円	0 円	0 円	87,000,000 円	9,562,253 円	0 円		
主管	市民一人当たりの決算額		2,911 円 (一般財源等ベース 0 円)		単位決算額				
	1 事業目的 五条川改修事業に伴う名鉄名古屋本線鉄道橋の架替えに同調し、国道302号、県道名古屋祖父江線等の鉄道交差部の一体的な鉄道高架事業を相互協力していくため、国土交通省、愛知県、稲沢市、清須市で確認書を取り交わした。確認書に基づき仮線用地等を確保することで、鉄道高架事業を推進する。								
新清洲駅周辺まちづくり課	2 事業内容								
	(1) 西市場廻間線等整備費								
	将来整備する都市計画道路及び緑地地内において、仮線用地となる土地について、用地買収及び建物等移転補償を行った。								
	ア 支出科目								
	区 分		内 容				事業費		
	公有財産購入費		都市計画道路等（仮線）用地購入費				54,564,538 円		
	補償、補填及び賠償金		建物等移転補償費				65,345,715 円		
	(2) 下本町丸之内線等整備費								
	将来整備する道路地内において、仮線用地となる土地について、用地買収及び建物等移転補償を行った。								
	ア 支出科目								
区 分		内 容				事業費			
委託料		物件調査業務				8,668,000 円			
公有財産購入費		道路（仮線）用地購入費				27,856,178 円			
補償、補填及び賠償金		建物等移転補償費				45,114,822 円			
3 事業成果									
鉄道高架事業着手のため、年度計画に沿った仮線用地を確保することで、限度額立体交差事業を構成する各事業を進捗することができた。									
また、将来整備する都市計画道路、緑地及び市道としての用地確保ができた。									

科目	款	08 土木費		項	04 都市計画費		目	05 公共下水道費	
	事業名		流域下水道関連施設費						
	決算額 (前年度比)		財 源 内 訳						
	5,233,466 円 (△145,713 円)		国・県支出金	使用料・手数料	分担金・負担金・寄附金	地方債	その他	一般財源等	
			0 円	791,872 円	0 円	0 円	0 円	4,441,594 円	
主管	市民一人当たりの決算額		76 円 (一般財源等ベース 64 円)			単位決算額		8,374 円 (延べ利用件数 625 件)	
上 下 水 道 課	1 事業目的 新川西部浄化センター内の緩衝緑地及び水の交流ステーションの適正な維持管理を行い、親しみやすい施設を確保する。								
	2 事業内容 環境整備事業で建設された新川西部浄化センター緑地及び水の交流ステーションの維持管理を行った。								
	(1) 利用件数								
	区 分					延べ利用件数			
	研修室（1 階）					321 件			
	多目的ホール（2 階）					304 件			
	合 計					625 件			
	(2) 主な支出科目								
	区 分			内 容			事業費		
	需用費			消耗品費など			35,946 円		
				光熱水費			823,222 円		
	委託料			新川西部浄化センター緑地除草及び水の交流ステーション清掃業務			330,000 円		
				保守点検業務			126,500 円		
				水の交流ステーション管理等業務			3,028,020 円		
	備品購入費			A E D 購入			308,000 円		
	3 事業成果 緩衝緑地及び水の交流ステーションを適正に維持管理することにより、親しみやすい施設を提供することができた。								

科目	款	08 土木費		項	04 都市計画費		目	06 都市下水路費	
	事業名		都市下水路等費						
	決算額 (前年度比)		財 源 内 訳						
	64,260,550 円 (+33,836,568 円)		国・県支出金	使用料・手数料	分担金・負担金・寄附金	地方債	その他	一般財源等	
			0 円	0 円	0 円	0 円	0 円	64,260,550 円	
主管	市民一人当たりの決算額		928 円 (一般財源等ベース 928 円)			単位決算額			
上 下 水 道 課	1 事業目的 浸水被害の解消を図るため、ポンプ場、雨水管渠の管理、整備を行い、水害に強い安全で安心なまちづくりを目指す。								
	2 事業内容								
	(1) 都市下水路等管理費								
	ポンプ場（6 か所）、雨水管渠を維持管理するため、保守点検業務を始め修繕及び浚渫工事などを行った。								
	ア 主な支出科目								
	区 分		内 容				事業費		
	需用費		消耗品費				11,940 円		
			光熱水費				2,707,881 円		
	委託料		清掃業務など				1,840,911 円		
			保守点検業務など				5,512,160 円		
	工事請負費		維持補修工事費				2,805,000 円		
	(2) 都市下水路等整備費								
	ポンプ場、雨水管渠の改良工事を行った。								
	ア 支出科目								
	区 分		内 容				事業費		
	工事請負費		雨水管渠改良工事（小場塚その他幹線）など				51,040,000 円		
	3 事業成果								
	ポンプ場、雨水管渠を適正に管理することにより、水害に強い安全で安心なまちづくりを進めることができた。								

科目	款	08 土木費		項	04 都市計画費		目	07 公園費	
	事業名		都市公園費						
	決算額 (前年度比)		財 源 内 訳						
	178,812,327 円 (+18,831,596 円)	国・県支出金	使用料・手数料 料	分担金・負担 金・寄附金	地 方 債	そ の 他	一般財源等		
		24,100,000 円	188,466 円	0 円	0 円	0 円	154,523,861 円		
主管	市民一人当たり の決算額		2,583 円 (一般財源等ベース 2,232 円)		単位決算額	2,884,070 円 (都市公園 62 か所)			
都 市 計 画 課	1 事業目的 地域住民の余暇活動や良好な住環境の形成に資するため、公園や緑地の維持管理や整備を行い、市民に緑とふれあう憩いや潤いの空間としての快適な都市環境を提供する。								
	2 事業内容								
	(1) 都市公園管理費								
	利用者が安心して利用できるよう、遊具などの公園施設の維持管理を行った。								
	ア 都市公園（62 か所）								
	西枇杷島地区		清洲地区		新川地区		春日地区		
	12 か所		14 か所		28 か所		8 か所		
	イ 支出科目								
	区 分		内 容				事業費		
	需用費		消耗品費				130,774 円		
			光熱水費				1,914,710 円		
			修繕料				2,204,655 円		
	役務費		し尿汲取手数料など				2,534,940 円		
	委託料		樹木剪定、除草及び清掃業務				78,566,691 円		
			遊具及び浄化槽などの保守業務				5,155,700 円		
			河川敷公園出水対策業務など				1,318,185 円		
	使用料及び賃借料		リバーランド排水管				9,562 円		
	工事請負費		フェンス修繕工事など				2,499,420 円		
	(2) 都市公園整備費								
	西田中一号公園（蓮池公園）及び西田中二号公園（松本公園）の整備工事を行った。								
	また、公園施設長寿命化計画に基づき、国庫補助を用いて、老朽化した公園施設の改築更新などの工事を行うとともに、公園灯の老朽化に伴うLED化工事を行った。								
	ア 支出科目								
	区 分		内 容				事業費		
	委託料		設計積算業務				3,080,000 円		
	工事請負費		西田中一号公園（蓮池公園）・西田中二号公園（松本公園）の整備工事				56,399,090 円		
			公園施設改築更新工事、公園灯LED工事など				24,998,600 円		
	3 事業成果								
	市民に緑とふれあう憩いや潤いの空間としての都市公園の維持管理や整備を行うことにより、快適な都市環境を提供することができた。								

科目	款	08 土木費		項	04 都市計画費		目	07 公園費	
	事業名		児童遊園等費						
	決算額 (前年度比)		財 源 内 訳						
	34,733,469 円 (+652,868 円)		国・県支出金	使用料・手数料	分担金・負担金・寄附金	地方債	その他	一般財源等	
			0 円	0 円	0 円	0 円	0 円	34,733,469 円	
主管	市民一人当たりの決算額		502 円 (一般財源等ベース 502 円)			単位決算額		826,987 円 (児童遊園等 42 か所)	
	1 事業目的 児童遊園・ちびっこ広場を除草清掃、樹木の剪定などにより、適正に維持管理し、安全、安心、快適な環境を提供する。								
都 市 計 画 課	2 事業内容								
	(1) 児童遊園・ちびっこ広場管理費								
	児童遊園・ちびっこ広場を適正に維持管理するため、除草及び清掃を実施した。								
	また、樹木の剪定、防除や遊具などの保守点検を定期的実施した。								
	ア 児童遊園・ちびっこ広場（42 か所）								
	区 分		児童遊園		ちびっこ広場		合 計		
	西枇杷島地区		0 か所		11 か所		11 か所		
	清洲地区		3 か所		8 か所		11 か所		
	新川地区		0 か所		6 か所		6 か所		
	春日地区		11 か所		3 か所		14 か所		
	合 計		14 か所		28 か所		42 か所		
	イ 支出科目								
	区 分		内 容				事業費		
	需用費		消耗品費				260,341 円		
			光熱水費				335,289 円		
修繕料				969,381 円					
役務費		し尿汲取り手数料など				393,900 円			
委託料		樹木剪定、除草及び清掃業務				9,889,725 円			
		遊具及び浄化槽の保守業務				2,476,100 円			
使用料及び賃借料		児童遊園等土地借地料				17,963,653 円			
工事請負費		遊具塗装及び補修工事				2,445,080 円			
3 事業成果									
児童遊園・ちびっこ広場を適正に維持管理することで、安全、安心、快適な環境を提供することができた。									